

流山 JC
[千葉]

**創立25周年を迎え、現役・シニアとともに
「明るい豊かなまちづくり」を实践**

流山

JCは1982年に
全国で704番目に

認証された若いLOMで、千葉県北西部の流山市を中心としたエリアで活動しております。本年度創立25周年を迎え、現役60名、シニアクラブ120名で「明るい豊かなまちづくり」を実践しております。

流山は江戸時代から醤油、味噌、味噌の産地として、また、水運の要として栄えておりましたが、明治

に入ると鉄道敷設の計画から外れ、近隣の地域と比較してまちの発展が停滞いたしました。しかし、そのおかげで緑豊かな自然と共生した美しいまちが形成されております。

また、2005年には「つくばエクスプレス」の開通にともない、秋葉原まで20分という交通至便な地域となり、今後の発展が見込まれる地域であります。

また、2005年には「つくばエクスプレス」の開通にともない、秋葉原まで20分という交通至便な地域となり、今後の発展が見込まれる地域であります。

流山JCでは創立時より「春の総会」「夏の納涼例会」「冬の忘年会」にはOB会員が奮って参加をし、現役とOBと懇親を深めております。

さらに、OBは「金を出しても口は出さな」という関係を保っております。(たまにはお小言も言う方もおられますが！)

10月24日には現役メンバーとの懇親ゴルフ大会が総武カントリークラブ(サントリーオーブン開催地)で開

催されました。「早い時間の設営だ！」とほやくあるOB、「迎えはなののか？」とつぶやくOB、わがままなOBに翻弄された現役メンバーが気の毒でありましたが、和やかな雰囲気の中、現役の親睦が図れました。

最近、シニアクラブメンバーも120名を越えて世代間の隔たりが見られるようになってきました。また、シニアクラブの集まりも決まったメンバーばかりという状況で、年長者の方々が出席しやすい会の設営がシニアクラブ会長としての責務と考えております。

本来の任期は2年ではありますが、なぜか3年目に突入し、後任を見つけねばならない今日この頃です。



懇親ゴルフ大会にて(中央はシニアクラブ会長)



懇親ゴルフ大会にて親睦を深めるシニアと現役



大会後の懇親会にてシニアと現役と



ゴルフを終え懇親会でさらに親睦を深める

流山JCシニアクラブ

会長 宮原哲也

日本JCシニアクラブ

千葉ブロック担当幹事 中村 亘